Ｎｏ．６８２【２０２５年１２月１２日配信】

新町にあった青森県自治会館（担当：竹内理香）

こんにちは。歴史資料室の竹内です。今回は昭和 30 年（1955）12 月に青森市新町に建てられた青森県自治会館をご紹介します。



新町通り・中央奥の建物が自治会館
（昭和 36 年版『市勢要覧』より）

青森県自治会館は青森駅前通り、現在のパサージュ広場の位置に、青森県町村会など複数の行政機関が入居する、当時青森市ではまだ少なかった近代式鉄筋コンクリート造 4 階建ての建物として華々しく誕生しました。それまで同地にあった、青森県町村会館が職員の増加、関係組合の新設などで手狭となったことから新築されることとなり、この建物を設計したのは東北学院大学大学院棟などを手がけた山下寿郎設計事務所仙台支社（現・株式会社山下設計東北支社）、施工は株式会社竹中工務店東北支店でした。昭和 30 年 4 月、新築工事は着工され、同年 12 月に無事竣工しました。

昭和 30 年 12 月 17 日、完成した青森県自治会館の 4 階大ホールを会場に、横山武夫青森県副知事、大島勇太郎青森県議会議長をはじめとする来賓、歴代町村会長、歴代町村長など関係者 300 名が出席する盛大な落成式が行われ、式典終了後行われた懇親会では、新設された 1 階食堂「昭和」の料理が振る舞われました。同年 12 月 18 日付『東奥日報』夕刊には「モダンな自治会館　きのう落成式も挙行」の見出しで近代的な建物が駅前に誕生したことを伝える記事が掲載されています。

青森県自治会館には行政機関だけでなく、誰でも利用できる食堂と喫茶室が入居していました。洋食メニューの提供や、テレビが設置された食事ができる小部屋は当時どちらも珍しく、多くの市民に慕われていました。また、この頃自治会館周辺には高い建物はなく、屋上からは青森駅前の街並みを見渡すことができました。その眺望の良さをいかして、夏に屋上で開設されたビアガーデンも評判を呼びました。



パサージュ広場のイルミネーション
（令和 7 年 12 月撮影）

昭和 59 年、青森県町村会は青森県共同ビル（新町 2 丁目）に移転し、外観から中身まで、目新しさで評判を呼んだ青森県自治会館はのちに撤去され、平成 12 年（2000）、跡地にはパサージュ広場が誕生しました。

本日 12 月 12 日から「みなとまち・あおもり誕生 400 年記念　令和 7 年度　あおもり冬のワンダーランド」が、青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸、ねぶたの家ワ・ラッセなど冬のウォーターフロント周辺を会場に開催されます。パサージュ広場では連携イベントとして、広場を象徴するシンボルツリーに装飾を施したイルミネーションが点灯され、クリスマスムードを盛り上げます。

※今回は『新青森市史　通史編第四巻　現代』（青森市 2014 年）、『青森町村自治縮印刷　上・下巻』（青森県町村会　1984 年）、『八十年の歩み』（青森県町村会 2004 年）、宮城県公式 Web サイトを参考にさせていただきました。